


# 国税だより（令和5年10月発行分）

## ○ 所得税及び復興特別所得税の予定納税（第2期分）をお忘れなく

令和5年分の「所得税及び復興特別所得税」の予定納税（第2期分）の納期限は、令和5年11月30日（木）です。納期限までに、金融機関又は所轄税務署の窓口で納付してください。

なお、金融機関の預貯金口座から引き落としとなる「振替納税」が大変便利です。利用されていない方は、是非ご利用ください。

また、スマホアプリ納付やクレジットカード納付などの各種キャッシュレス納付も大変便利なものとなっておりますので、詳しくは国税庁ホームページの「納税に関する総合案内」(<https://www.nta.go.jp/taxes/nozei/annai/index.htm>)をご覧ください。 



(注) 予定納税とは、前年分の確定申告に基づき計算した予定納税基準額が15万円以上である場合に、その年の「所得税及び復興特別所得税」の一部をあらかじめ納付する制度です。

詳しくは、国税庁ホームページ (<https://www.nta.go.jp>) をご覧ください。


## ○ 年末調整・所得税の確定申告でお困りのときは“ふたば”にご相談ください

年末調整・所得税の確定申告に関する疑問は、国税庁ホームページ税務相談チャットボットの「税務職員ふたば」にご相談ください。

お問合せ内容をメニューから選択するか、文字を入力いただくことにより、人工知能（AI）を活用して自動でお答えします。土日・夜間でもご利用いただけます。

詳しくは、国税庁ホームページ「チャットボット（ふたば）に質問する」へ

◇ パソコン及びスマホから (<https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/chatbot/index.htm>)

パソコン及びスマホサイトは、こちらのコードからもご利用になれます。 




## ○ インボイス制度に関するご質問は“ふたば”にご相談ください

インボイス制度に関するご質問は、国税庁ホームページ税務相談チャットボットの「税務職員ふたば」にご相談ください。

お問合せ内容をメニューから選択するか、文字を入力いただくことにより、人工知能（AI）を活用して自動でお答えします。土日・夜間でもご利用いただけます。

詳しくは、国税庁ホームページ「チャットボット（ふたば）に質問する」へ

◇ パソコン及びスマホから (<https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/chatbot/index.htm>)

パソコン及びスマホサイトは、こちらのコードからもご利用になれます。 



## ○ 税務署での来署によるご相談はご予約を

税務署での来署によるご相談は、事前のご予約をお願いします。

国税について来署による相談を希望される場合や相談内容により電話等での回答が困難な場合には、電話等で事前に相談日時等をご予約いただいた上で、所轄の税務署においてご相談をお受けしております。

ご予約の際には、お名前・ご住所・相談内容等をお伺いいたします。

## ○ 「タックスアンサー（よくある税の質問）」のご利用方法等について

国税庁ホームページの「タックスアンサー（よくある税の質問）」では、よくある税のご質問に対する一般的な回答を調べることができます。

また、キーワードや分野等から検索もできますので、是非ご利用ください。

◇ パソコン及びスマホから (<https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/taxanswer/index2.htm>)

パソコン及びスマホサイトは、こちらのコードからもご利用になれます。



## ○ 国税に関する一般的な相談は「電話相談センター」へ

国税に関する一般的なご質問やご相談は「電話相談センター」をご利用ください。

「電話相談センター」ご利用の際の手順は、次のとおりです。

- 1 所轄の税務署に電話します。
- 2 音声案内に従い、「1」を選択します。  
※申告相談の事前予約など、直接税務署の職員にご用の方は「2」を選択してください。
- 3 音声案内に従い、相談したい内容の番号を次の6つの中から選択します。  
「1」 個人の方の年金、給与、事業などの所得税  
「2」 年末調整などの源泉徴収又は支払調書  
「3」 相続税、贈与税、譲渡所得又は財産の評価  
「4」 法人税  
「5」 消費税（軽減税率制度・インボイス制度を除く）や印紙税  
「6」 その他
- 4 電話相談センターの職員がお受けします。

## ○ e-Tax（国税電子申告・納税システム）について

- 1 e-Taxでは、税務署に出向くことなく、インターネットを利用して所得税、消費税、相続税、贈与税などの申告や法定調書の提出、青色申告の承認申請などの各種手続を行うことができます。
- 2 税金の納付も、金融機関や税務署の窓口に出向くことなく、ダイレクト納付（※）やインターネットバンキング、ペイジー（Pay-easy）対応のATMを利用して全ての税目について行うことができます。  
※ ダイレクト納付とは、事前に税務署に届出をしておけば、e-Taxを利用して電子申告などを行った後に、簡単な操作で、届出をした預貯金口座からの振替により、即時又は期日を指定して国税の納付ができるものです（ダイレクト納付利用届出書は、個人の方についてはe-Taxにより提出することができます。）。

詳しくは、e-Taxホームページ (<https://www.e-tax.nta.go.jp> 又は  ) をご覧ください。

パソコン及びスマホサイトは、こちらのコードからもご利用になれます。



## ○ e-Taxのメリット

- 1 所得税等の確定申告をe-Taxで行う場合、生命保険料控除の証明書などは、その記載内容を入力して送信することにより、これらの書類の提出又は提示を省略することができます（法定申告期限から5年間保存しておく必要があります。）。
- 2 自宅や税理士事務所からe-Taxで還付申告を行う場合、書面で提出した場合より、還付金を早く受け取ることができます。
- 3 e-Taxで納税証明書の交付請求を行うと、書面請求の場合より手数料が安価です（電子ファイルでの交付のほか、書面での交付も請求できます。）。

また、スマートフォンやタブレット端末からでも納税証明書の交付請求が行えます（税務署窓口で受け取れます。）。

詳しくは、e-Taxホームページ（<https://www.e-tax.nta.go.jp>）又は   をご覧ください。

パソコン及びスマホサイトは、こちらのコードからもご利用になれます。



## ○ マイナンバーカードの積極的な取得について

マイナンバーカードは、e-Taxによる確定申告での利用、各種証明書のコンビニでの取得、健康保険証利用、公金受取口座の登録等、大きなメリットがあるカードです。

国税庁においては、マイナンバーカードを利用した納税者の利便性向上施策に取り組んでいるところ、今後、マイナポータル連携により自動入力される情報は順次拡大され、年末調整・確定申告手続きが更に簡便化されます。

マイナポータル連携を行うためには、マイナンバーカードの取得が必要となりますので、マイナンバーカードを取得されていない方は、お早めの申請をお願いいたします。

マイナポータル連携については、国税庁動画チャンネルからも確認できます。



**マイナンバー制度・マイナンバーカードについてのお問合せ**

マイナンバー総合フリーダイヤル **0120-95-0178** マイナンバー 平日 9時30分～20時00分  
土日祝 9時30分～17時30分（年末年始を除く）

■一部のIP電話等で上記ダイヤルに繋がらない場合 ■英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語対応のフリーダイヤル  
This telephone number is toll-free corresponding to English, Chinese, Korean, Spanish and Portuguese.

マイナンバーカード等 **050-3818-1250** その他のお問合せ **050-3816-9405** マイナンバー制度について **0120-0178-26** Inquiries about My Number System マイナンバーカード等 **0120-0178-27** Inquiries about My Number Card etc.

マイナンバーカードの申請方法はこちら 

<https://www.kojinbangocard.go.jp/kofushinse/>

## ○ 税務関係書類へのマイナンバーの記載と本人確認

個人の皆さまが税務署へ申告書や申請書等を提出する際には、毎回、マイナンバーの記載と本人確認書類の提示又は写しの添付が必要です。

なお、e-Taxを利用して申告書や申請書等を提出する場合、本人確認書類の提示又は写しの添付が不要となりますので、是非ご利用ください。

詳しくは、国税庁ホームページのトップページ（<https://www.nta.go.jp>）又は   にある「社会保障・税番号制度<マイナンバー>」をご覧ください。

パソコン及びスマホサイトは、こちらのコードからもご利用になれます。



## ○ 税務署の内部事務のセンター化について

熊本国税局では、一部の税務署を対象に、複数の税務署の内部事務（※）を専担部署（業務センター）で集約処理する「内部事務のセンター化」を実施していますので、下記の事項について、御理解と御協力をお願いいたします。

なお、内部事務のセンター化は、納税者の皆様の所轄税務署を変更するものではありません。

（※）内部事務とは、例えば、申告書の入力処理、申告内容等についての照会文書の発送などの事務をいいます。

### 1 業務センターへの申告書・申請書等の提出

内部事務のセンター化の対象となっている税務署に、申告書・申請書等を提出する場合は、以下のとおり御対応をお願いいたします。

- ・ e-Tax（データ）により提出する場合は、所轄税務署へ送信願います。
- ・ 書面により提出する場合は、業務センターへ郵送願います。

注（1）税務署の窓口及び時間外収受箱へ提出することも可能ですが、その際は、所轄税務署に提出いただくようお願いいたします。

（2）書面の申告書・申請書等を、業務センターへ直接持ち込むことはできません。

### 2 業務センターから納税者・税理士の皆様への問合せ

業務センターでは、納税者や税理士の皆様に対し、内部事務を処理するため、電話や文書により問合せをさせていただきますことがあります。

### 3 その他の案内

次の事項は、業務センターでは対応しておりません。

- ・ 国税に関する御相談（納付に関する御相談を含みます。）
- ・ 税務署の窓口で対応している納税証明書の交付、閲覧申請、情報公開、現金による国税の納付
- ・ 申告書・申請書等の用紙の送付依頼

### 4 熊本国税局において、内部事務のセンター化の対象となっている税務署は、下表のとおりです。

名 称	熊本国税局業務センター
所在地	〒862-8721 熊本市東区東町3丁目2番53号
対象署	熊本西署・熊本東署・八代署・人吉署・天草署・山鹿署・宇土署・阿蘇署
行政指導事務等の集約処理	熊本国税局業務センターにおいては、上記税務署の内部事務のほか、一部の行政指導事務等について、熊本国税局管内全署分の照会文書や通知書の発送、電話照会を集約処理しています。

詳しくは、熊本国税局ホームページ（[熊本国税局](#) [検索](#)）をご覧ください。

- ◇ パソコン及びスマホから（<https://www.nta.go.jp/about/organization/kumamoto/shokai/center/jimu.htm>）  
パソコン及びスマホサイトは、こちらのコードからもご利用になれます。



# 国税だより（令和5年10月発行分）

## ○ 契約書や領収書と印紙税

私たちは、毎日の生活の中で、いろいろな文書を作成したり、受け取ったりしています。

これらの文書の中には、印紙税が掛かるものがあります。

印紙税が掛かる文書は、金銭借用証書、不動産売買契約書、工事請負契約書などの契約書のほか、約束手形、領収書、金銭の受取通帳など、20種類に分類されています。

印紙税は、印紙税の掛かる文書を作成した人が、定められた金額の収入印紙をその文書に貼り付け、これに消印をして納める税金です。

文書を作成する場合は、印紙税のパンフレット（国税庁ホームページに掲載）等を参考に次のことに注意していただき、印紙税が掛かるかどうか、税額がいくらかなどを確認して、間違いのないようにしてください。

- 1 覚書、念書、差入証などは、印紙税法上の契約書になる場合があります。
- 2 申込書、注文書、依頼書などの文書でも印紙税が掛かる場合があります。
- 3 仮契約書、予約契約書及び仮領収書にも印紙税が掛かります。
- 4 レジスターから打ち出されるレシートにも印紙税が掛かります。

印紙税についてお分かりにならないことがありましたら、一般的な事項は国税庁ホームページをご覧ください、個別のご相談は最寄りの税務署へお尋ねください。

◇ パソコン及びスマホから (<https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/zeimokubetsu/inshi.htm>)

パソコン及びスマホサイトは、こちらのコードからもご利用になれます。



## ○ リデュース・リユース・リサイクル（3R）推進月間

毎年10月は「リデュース・リユース・リサイクル（3R）推進月間」です。

物質の循環を実現し、資源の消費や環境への負荷を少なくする「循環型社会」形成のため、リデュース[Reduce]（廃棄物の発生抑制）・リユース[Reuse]（再使用）・リサイクル[Recycle]（再生利用）への取組が必要であり、これらの頭文字をとって「3R（スリーアール）」と呼ばれています。

循環型社会を形成するためには、法整備だけではなく、ごみそのものの発生を抑えたり、ごみとして捨てていたものを再使用・再生利用して処分するごみの量をできるだけ少なくする工夫が必要です。

毎日の生活の中で、3Rに気を配ることで容器包装の排出削減等につながりますので、ご協力をお願いします。

## ○ 文書回答手順をご利用ください

国税局においては、納税者の方からの個別の取引等（実際に行われた取引等のほか、将来行う予定の取引等）に係る税務上の取扱いについての照会に対して、文書により回答するサービスを実施しています。

また、その照会及び回答の内容は、同様の取引等を行う他の納税者の予測可能性を高めるために、国税庁ホームページ (<https://www.nta.go.jp>) にて公表していますので、国税庁ホームページ及び文書回答手順を積極的に利用していただくようお願いします。

なお、ご利用に当たり手続等でお分かりになりにくいことがありましたら、最寄りの税務署にお尋ねください。

## ○ 参加してみませんか？国税庁の公売

### 公売とは？

公売とは、国税局又は税務署が差し押さえた財産を滞納国税に充てるため、広く不特定多数の買受希望者を募り、売却することをいいます。

原則として、どなたでも公売への参加が可能です。（公売財産を所有する滞納者、国税庁・国税局・税務署の職員などを除く。）

### 公売の特徴

土地・建物といった不動産のみならず、宝飾品、美術品、家電製品、自動車など、様々な種類の財産を公売しています。

また、買受後の返品が認められないほか、品質・機能について保証がないため、一般的に市場価格より低い見積価格（売却価格の最低金額）が設定されています。

### 参加方法 など

自宅のパソコンやスマートフォンなどで入札に参加する方法もあります。

詳細は、国税庁ホームページ（<https://www.nta.go.jp> 又は  ）をご覧ください。もしくは最寄りの税務署にお尋ねください。

熊本国税局徴収課（電話096-354-6171）

## ○ 公売に参加したいときは

公売とは、差し押さえた財産を入札等の方法により売却する制度で、原則としてどなたでも参加することができます。

公売は全国の国税局や税務署で随時行っているほか、国税庁ホームページにおける期間入札や官公庁オークションサイトを利用したインターネット公売（競り売り）も行っています。

なお、公売の日時や公売財産の内容については、公売を実施する国税局や税務署の掲示板に掲示する公売公告に記載しています。

公売手続などの詳細は、国税庁ホームページ（<https://www.nta.go.jp> 又は  ）をご覧ください。もしくは最寄りの税務署にお尋ねください。

熊本国税局徴収課（電話096-354-6171）